

四国大学大学院 文学研究科

日本文学・書道文化専攻
国際文化専攻



文学研究科
長期履修生
渡邊浩樹作品
「枇杷図」



Graduate School of Literature

人文学のエッセンスに触れ、 学問の奥深さを楽しむ。

設立は平成15年(2003年)。本年度で設立18年目。「日本文学・書道文化専攻」と「国際文化専攻」の2つの専攻があります。

▶フレキシブルな時間設定

社会人も受け入れているため、全ての特論科目が昼夜開講となっています。夜間の受講だけでも履修可能。

- 4限(14:40～16:10)・5限(16:20～17:50)・6限(18:00～19:30)・7限(19:40～21:00)
- 教員の空き時間に授業を入れることも可能なので、受講生の都合によって1～3限(9:00～14:30)の間に開講する場合もあります。

2年間の学費で3年間に在籍し、じっくり研究に取り組める「長期履修学生制度」もあります。

▶充実した教授陣と、多様な授業

日本文学・書道文化専攻 (入学定員は6名)

●授与される学位…修士(文学)

※特別演習は修士論文作成のためのゼミ授業です。

	職 名	氏 名	担当授業名
日本文学分野	教 授	佐伯 雅宣	中国文学と書特論、特別演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
	教 授	佐々木義登	文藝創作・評論特論、特別演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
	教 授	須藤 茂樹	戦国時代史特論、中世・近世史特論、特別演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
	教 授	友重幸四郎	近代文学特論A・B、特別演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
	助 教	田中 智子	古代文学特論A・B
	非常勤講師	會田 実	中世文学特論A・B
	非常勤講師	田中 敏生	日本語学特論A・B、日本語学と書特論
書道文化分野	非常勤講師	余田 充	日本文学と書特論
	教 授	太田 剛	書道史特論(日本・朝鮮)、書写教育特論、書道教育特論、文房四宝研究、東洋文化と書特論、特別演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
	教 授	辻 尚子	調和体書法特論、書道生涯学習特論、文房四宝研究
	教 授	森上 洋光	漢字書法特論A・B、文房四宝研究、特別演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
	講 師	田ノ岡大雄	かな書法特論ⅠA・ⅠB、文房四宝研究
	非常勤講師	上田 普	デザイン書法特論
	非常勤講師	杉村 邦彦	書道芸術学特論、書道史特論(中国)
	非常勤講師	野田 悟	文字学特論、篆刻学特論

※教員組織は令和2年度のものを示す。

国際文化専攻 (入学定員は4名)

●授与される学位…修士(文学)

職 名	氏 名	担当授業名
教 授	阿部 曜子	英語圏文学研究Ⅱ(フィクション)、英語圏文学研究Ⅲ(文学とメディア)、英語圏文学研究Ⅳ(児童文学)、比較文学・文化特論、特別演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
教 授	谷口 薫	西洋思想特論、国際文化特論、ジェンダー特論、特別演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
教 授	西 島 俊彦	英語教育基礎研究、英語教育授業研究、英語教育教材研究
教 授	フェネリー・マーク	小学校英語教育基礎研究、小学校英語授業研究、小学校英語教材研究
准教授	富山 晴仁	英語学研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、特別演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
准教授	バロッグ・スザンネ	英語音声学特論、Oral CommunicationⅡ
准教授	ラックストン・ロバート	異文化間コミュニケーション特論、Oral CommunicationⅠ
非常勤講師	田久保 浩	英語圏文学研究Ⅰ(詩とドラマ)

※教員組織は令和2年度のものを示す。

▶ 豊かで密度の濃い研究生活

- 1 1人1台の机と便利なPC設備、充実した研究図書、使いやすい院生研究室。
- 2 各院生には研究費が一定額支給されます。(各学年1～2万円程度)
 - 研究旅費(学会参加、資料収集等)
 - 修士論文費(書籍・消耗品など)
- 3 自由な討論やゼミ担当教員によるマンツーマンの指導により、豊かで密度の濃い研究生活を送ることができます。
- 4 受講は各専攻内の科目が基本ですが、さらに幅広い知識を身につけるため、互いに他の専攻の授業も、各10単位まで受講できます。また許可を得れば他の研究科の授業も受講でき、一部は修了単位になります。
- 5 修了要件として、文芸創作、書道作品制作発表、翻訳、翻刻なども、修了論文の中に含めることができます。
- 6 大学院在学中に大学の授業を受講したい場合は、院の合格以後に大学の「科目等履修生」となれば可能です。この方法を使えば、各学部での授業も無料で受講できます。また国語科の中学校・高等学校教員免許を取得済の方は、小学校教員免許が取得できます。日本語教員資格取得に取り組む院生もいます。

日本文学・書道文化専攻の特長

心の声としての「文学」と心
の画としての「書」を融合させた、
特徴あるカリキュラム構成。

文学だけでなく、歴史、創作(詩・小説)、書道、教材作成 など、様々な分野に特化した研究活動も可能です。

高等学校教諭専修免許(国語・書道)、
中学校教諭専修免許(国語)が取得できます。

国際文化専攻の特長

研究目的に合わせた3コースを設定しています。

- ①国際文化・文学コース
- ②英語コミュニケーションコース
- ③語学教育コース

小学校での英語教育が重視される時代と
なってきました。
ネイティブの教授陣が実践的な授業を準備しています。

高等学校教諭専修免許(英語)、
中学校教諭専修免許(英語)が取得できます。

学位の授与

2年間以上在学し、特別演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの8単位、特論22単位以上、計30単位以上を修得、かつ修士論文審査及び口頭試問に合格すれば、修士の学位が授与されます。

時間割例

文学研究科
(日本文学・書道文化専攻)
1年生Aさんの
令和2年度前期

時 限	2	3	4	5
時 間	10:40～12:10	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50
月			特別演習Ⅰ	中世・近世史特論
火	ジェンダー特論	中世文学特論A		
水			古代文学特論A	日本文学と書特論
木				
金				

文学研究科の学習環境



●日本文学館4Fの院生研究室

各自の机があって、個々に勉強を進めることができます。PC環境も完備しています。



●日本文学館4Fの書道実習室

書道の実習ができる院生専用の教室があります。床の毛氈では大きな作品を書くこともできます。



●国際文化館6Fの院生研究室

各自の机があって、PC環境も完備しています。



●日本文学館4Fの文学メディアセンター

日本文学関係の授業や、小規模の研究発表会、修士論文の口頭試問を実施します。

授業紹介 多くは各先生の研究室で行われています



●デザイン書道特論(集中講義)

京都の上田晋先生から、作品制作の具体的方法を学びます。「藍の家」で染色作品の講習中。



●英語圏文学研究IV(児童文学)

阿部曜子先生のご指導で、19世紀の英米文学作品(英文)を読みました。

大学の授業以外の研究活動の紹介



●日本語教育アシスタント

留学生のための日本語の授業のお手伝いをしました。教える仕事の訓練になります。



●海外留学

中国の湘潭大学に半年間留学し、中国語と漢文の研究が大きく進展しました。



●各種学会での研究発表

学内外の学会で機会をいただき、院生が積極的に発表をしています。



●文化財調査

須藤茂樹先生・文学部学生と、定期的に各地の書画・古文書等の文化財調査をおこなっています。



●四国大学交流プラザでの書道個展

書道文化専攻の院生が、研究成果によって制作した書道作品による個展を実施しました。



●文化財調査結果の出版

美馬市の安楽寺での文化財調査の結果が立派な冊子にまとめられました。(A4版61頁)

中国浙江省杭州市の 浙江大学芸術研究所との 単位互換制度



浙江大学は、中国で三番目の規模と実績を誇る有名大学です。杭州市は南宋の都があった古都で、市内には白楽天や蘇軾が堤を築いたことで有名な西湖があり、その岸边には清朝末期に呉昌碩が初代社長となって設立した「西泠印社」があります。王羲之の別荘のあった蘭亭にも旅行しやすく、中国江南の書道文化の粋を学ぶのに最適な場所です。この大学とは2007年以来本学大学院文学研究科と単位互換制度があり、留学する本学院生もあり、教員も隔年で互いの大学院を訪問し、特別講義を実施しています。院生として実際に1年間留学したい場合は、四国大学の「長期履修学生制度」を活用して、2年次の後期から3年次の前期に浙江大学に留学し、3年次後期に四国大学で修士論文を仕上げ修了する方式が良いでしょう。



浙江大学芸術研究所教授 による特別講義

2年に一度
9月ごろ

平成29年度には、浙江大学の林如教授が四国大学を訪問され、「中国清代の碑学理論と実践」と題して講義をし、実際に揮毫の様子も見せて下さいました。

▶ 各分野の院生の研究内容紹介



増田 亮さん
日本文学分野2年生

学部生の時は、神仏や亡者がどのように戯画化されていたのかを、趣味を兼ねて落語やその原話などから考える論文を書きました。現在はそこから転じて日本人の死生観についても興味を持ち、やはり落語から考察しています。



渡邊浩樹さん
書道文化分野長期履修生

異体字研究が修士論文の主題です。昔の印章に刻された漢字の、標準的でない姿をしたものに興味があります。なぜ、わざわざ変わった字体が用いられたのか、また何が典拠となっているのかを知りたいです。
(令和元年8月～2年1月、中国浙江大学に留学)



佐々木秋穂さん
国際文化分野1年生

「東アジア諸国のジェンダー意識」について研究しています。研究を通して、物事を様々な視点から考えることや、考察や意見を言語化できるよう訓練していきたいです。自分を強く成長させるため、大学院でより一層学びを深めたいと思います。

▶ 修了後の進路紹介

四国大学事務職員(6名)、四国大学文学部非常勤講師、鳴門教育大学非常勤講師、短期大学文学部講師(京都府)、高等学校国語教諭(大分県・岐阜県・香川県)、高等学校書道教諭(福岡県・香川県・兵庫県)、高等学校講師(岡山県・沖縄県・愛媛県)、高等学校理科助手(高知県)、高等学校図書館司書(徳島県)、学童保育指導員(徳島県)、博物館学芸員(香川県)、警察官(高知県)、警察筆耕嘱託職員(徳島県)、図書館司書(徳島県)、札所寺院筆耕担当(徳島県)、洋服販売店店長(兵庫県)、広告会社(徳島県)、葬祭業(徳島県)、福山通運、病院経営、コーヒー店経営、旅館経営、書塾経営 など各分野でご活躍中です。修了後に研究生として、さらに研究を深めている方もおられ、後輩院生にも刺激を与えて下さっています。

▶ 修了生紹介



平成17年度修了生
菊池寛記念館学芸員
久保清子さん

「菊池家文書」の調査活動には、四国大学の先生方にも協力していただいています。



平成23年度修了生
四国福山通運(株)阿南営業所勤務
永見薫平さん

現在も書作品を制作する時には、大学院の研究で得た知識や資料を活用しています。



平成30年度修了生
四国大学教育支援課勤務
立井佑佳さん

大学院で充実した研究生生活を送ることができました。本学の研究生・科目等履修生としての研究の継続を検討しています。



平成22年度修了生
カフェ&アトリエ・ケストナー経営者
佐藤文昭さん

令和2年度研究生
神道史を研究中



平成29年度修了生
川島病院名誉院長(糖尿病治療の名医)
島 健一さん

在学中は源氏物語とシェイクスピアを研究

修了祝賀懇談会の様子



院生と多くの教授陣とは、学問研究の同志のような関係で、年に数回の懇親会のほか、修了式後は立食パーティーで祝います。

▶ 修了生へのQ&A



平成28年度
日本文学・
書道文化専攻修了生
篠原博子さん
株式会社イマデヤ
(葬祭業)

Q1 大学とは違う大学院ならではの教育内容や研究の面白さについて語っていただけませんか？

A 少人数での授業となるため、授業内で取り扱う題材を先生と相談しながら決められる場合があります。興味のある題材についてより深く学べる点や、自分のペースに合わせて授業を進めてもらえる点は少人数授業ならではの点だと思います。好きなことを好きなだけ研究できる場合は大学院においてほかにありません。

Q2 大学院の研究とアルバイト・就活との両立は大変ではなかったでしょうか？

A 四国大学大学院は夜間開講の講義が多いので、朝や昼は自由な時間が多くとれます。昼間にアルバイトや就活をこなしたあと、夕方から登校し夜を勉強時間にあてるといった生活をしていました。時間帯によって気分を切り替えて過ごすことができた点がよかったです。

Q3 大学院で学んだことが、現在の仕事や、修了後の人生に役立っていると感じていることがありましたら教えてください。

A 授業補助のアルバイトや学術学会開催の手伝いをさせていただいたことでとっさの対応力が養えました。思いがけない事態に直面した場合でも自分で考え、すぐ行動に移せるようになったことは、サービス業に従事する上で非常に役立っています。また勉強面では、文章力と論理的に考える力が培えたと感じています。

▶ 学費について

- 各学年若干名には、四国大学大学院奨学金(返還不要)が支給されます。日本学生支援機構の奨学金(返還必要)もあります。
- 四国大学を卒業後に入学する場合、また、本学の大学・大学院に兄弟・姉妹が在籍の場合、親が本学の同窓生の場合には、入学金が半額免除されます。
- 四国大学専門分野特別奨学生の学生は、A区分40万円、B区分20万円(年間)の奨学金が支給されます。

▶ 入試について

1.一般入学試験

小論文・面接・書類審査により総合的に判定します。小論文は、各専攻の専門分野より出題します(800字以内)。面接は、提出された「研究計画書」を中心に実施します(20分程度)。

2.社会人入学試験

面接(20分程度)・書類審査により総合的に判定します。

[入試日]

●令和3年4月入学生のための試験

期	出願期間	試験日	合格発表日	入学金・学費等納入締切日
第Ⅰ期	令和2年6/15(月)～7/6(月)必着	7/18(土)	7/28(火)	令和2年8/31(月)消印有効
第Ⅱ期	令和2年11/2(月)～12/3(木)必着	12/12(土)	12/22(火)	令和3年1/14(木)消印有効
第Ⅲ期	令和3年2/24(水)～3/15(月)必着	3/20(土・祝)	3/24(水)	令和3年3/29(月)消印有効

●令和3年9月入学生のための試験

期	出願期間	試験日	合格発表日	入学金・学費等納入締切日
第Ⅰ期	令和3年6/21(月)～7/12(月)必着	7/24(土)	7/31(土)	令和3年8/31(火)消印有効

資料請求は

四国大学 広報課

☎0120-65-9906 FAX 088-665-9907
https://www.shikoku-u.ac.jp/request/

文学研究科

お問い合わせ先・文学研究科長 太田剛 TEL 088-665-9705
E-mail ota-tsuyoshi@shikoku-u.ac.jp

人が集まる「人」をつくる、大学。



SHIKOKU UNIVERSITY
四国大学

〒771-1192
徳島市応神町古川字戎子野123-1
TEL 088-665-1300
FAX 088-665-8037
https://www.shikoku-u.ac.jp/

